

## 会議録（要点記録）

会議名称	令和4年度 第2回小金井市精神保健福祉連絡協議会 部会		
開催日時	令和4年8月31日（水） 14:00～14:30		
開催場所	ZOOM を使用し、オンラインで開催		
出席者等	委員：小椋委員（欠席）、鈴木委員、佐々木委員、東郷委員、杉山委員、藤原委員 その他：地域生活支援センター そら職員1名 事務局：自立生活支援課長、相談支援係長、相談支援係主事		
傍聴の可否	不可	傍聴者数	—
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 長期入院患者調査の実施状況について (2) 各事業所から情報共有・意見交換 (3) 今後のスケジュールについて (4) その他 3 閉会		
会議結果	1 開会 2 議題 (1) 長期入院患者調査の実施状況について 【市自立生活支援課より】 第1回小金井市精神保健福祉連絡協議会にて地域移行の対象となったケースのうち、2名について入院先病院相談員に事情を説明したうえでカンファレンス等の開催を依頼したが、いずれの病院も新型コロナウイルス感染症により対応できる状況にないといわれ、後日連絡をもらえることとなった。しかし、今日現在いずれの病院からも連絡はない。今後再度連絡し進めていく。 （出席者より質問、意見） 特になし。 (2) 各事業所から情報共有・意見交換 【小金井市児童発達支援センター きらり】 新型コロナウイルスについて子どもの間で広がっている。相談は例年よりも少なかったが、その他は概ね例年通りである。研修もコロナ禍3年目ということもあり、オンラインでの参加が多い。 ところでこの場の参加者と情報共有したいことがあり、例えば医療機関の紹介について、具体的な名前を出したり出さなかったりして対応しているが、青年期に近づくにつれ親御さんのメンタル不調や発達障害のことをよく理解してくれている機関とつながりたいという相談を受ける。新規で受けてくれる病院を知っていたら病院名等を教えても		

らえないか。それと、市自立生活支援課のほうで子ども家庭支援センターとの連携状況について確認したい。ケースについて定期的なやりとりがあるのか。あるのなら相談担当が伺いたい。

**【市自立生活支援課】**

子ども家庭支援センターとの連携については、要保護児童対策地域協議会に相談支援係長が参加しており、そこで具体的なケースについて情報交換をしている。年に4回くらい。課長も別途上位会議に出席している。その他互いに必要があればカンファレンス等を開催し対応している。

**【小金井市児童発達支援センター きらり】**

発達障害を見てくれる医療機関と聞いたが、障害の方の家族について子育てを理解して支援してくれるところはないか、という趣旨である。医療機関を伝えないと進まないことがある。どこだ、と言えないかもしれないが、参考までに伺いたい。

**【市自立生活支援課】**

市も特定の機関を名指しで紹介するのは難しいが診療科目など特定の要件を満たす機関という示し方ならできる。今年関係機関の一覧を作ろうと思う。報告できることがあれば別途連絡する。

**【小金井市障害者地域自立生活支援センター】**

新型コロナウイルス感染症の影響が出ている。9月21日に高次脳機能障害の講演を開催する。

**【市自立生活支援課】**

小金井市障害者地域自立生活支援センターでヘルパー養成研修が開催されているが、前は広報が不十分だったため次回以降は適切に広報を実施する。

**【福祉総合相談窓口】**

8050問題の相談など、他機関との連携が必要な相談が増えてきている。以前生活保護を受給していた精神疾患のある方を支援しているが、職員が対象者の家の近くを通ったら大声で叫んでいたのを見た。65歳未満で現在医療機関に繋がっていない。受診前に保険証を作成しようとしたら住民登録がないことも判明した。市での手続きを案内しているがなかなかうまくつながらない。保健所に相談したがコロナ対応ですぐに動けないといわれた。また、対象者が自分のアパートの周りに大便をしてしまうと近所や大家から連絡を受けていて苦慮している。市のほうではどのように対応すればいいか助言があればいただきたい。

**【市自立生活支援課】**

市民サービスをうけるためにも住民登録は重要である。そして原則住民登録がある自治体で自立支援医療及び精神障害者手帳が取得できる。自立生活支援課がケースワークを行うには、原則自立支援医療か

	<p>障害者手帳の所持が必要である。以上から現況で対象者を医療につなげる必要があると考えると、手段としては未治療精神疾患の支援対象者としてやはり保健所の介入を依頼するのが第一となる。しかし、家の周りに大便しているととなると警察案件になると考える。ついでには警察に相談して保護等措置を経て措置入院という手段もある。ただし、警察介入は対象者に与える影響が強いため総合するとやはり保健所対応が最善ではないか。</p> <p>【小金井市障害者就労支援センター】 相談が増えている。先ほどの発達障害の方の医療の件についてこちらにも相談に来ている。話をよく聞いてくれる医師などの情報が必要あれば個人的な意見だが情報提供可能。今後も連携していきたい。</p> <p>【小金井市権利擁護センター】 金銭管理支援事業の新規利用者の待機者が多い。また、新型コロナウイルス感染症の関係で8月は新規事業利用者の面談を中断していたが9月から再開した。今開催中だが生活支援員養成講座について15名定員のところ16名応募が来ている。例年と比較し多くの方が利用している。今回は市民後見人養成講座も開催した。現任の生活支援員は年齢が高い方が多い。</p> <p>【小金井市地域生活支援センターそら】 新規相談が5件くらい。あと2件くらい受ける予定。防災訓練を行った。それと共に台風の対策講座をやった。2019年の台風15号と19号で15号のとき千葉県は1月ほど停電があって、19号は八王子市や狛江市の堤防が決壊した、また江戸川区民全員避難となった。週明けに関東近辺にやってくる可能性がある。利用者の方には「2019年のことを思い出してほしい。」と言っている。ツイッターでも小金井市の避難所の状況などが上がっているが、それを振り返りながら対策をやっていた。避難所への移動も準備が必要である。9月、10月にもっと凶暴な台風がやってきて停電するなど起きる場合がある。いかに事前に何が必要かアナウンスする必要があり、それが後々の減災につながると職員と話し合っている。</p> <p>(3) 今後のスケジュールについて ・部会 第3回 令和4年10月5日 14時～</p> <p>(4) その他 なし。</p> <p>3 閉会</p>
提出資料	なし